

稲葉健二のコラム



今回は、地域のいろいろな部分の対策について考えていきたいと思えます。当然のことですが、課題を市川市全体として考えていくことと、その地域ごとに考えていくことに大きく分かれると思えます。例えば子育てについてですが、市川市は全国で上位の待機児童数です。毎年預かれる施設を増やしたりしていますが、追いついていません。しかし、この待機児童数も、地域によって違います。北部は少なく、今一番多い地域は総武線沿線区域の市川や本八幡、そして東西線の妙典区域です。受け入れ施設を増やしても、この地域につくらなければ効果は少ないわけです。この地域は、地価も高く、賃借料なども高い地域で空地も少ない状況です。人口密度も高い分課題も多くあることになります。

昨年12月、今工事をしている、旧市役所本庁舎の斜め向かいにある「藪知らず」の歩道にある3本の大きな木が伐採されました。歩道上にあるため、通行する際に、人と自転車が接触したり、落葉で歩道が滑ったりしていました。また、木でかけるために暗いので、防犯灯の要望などもありました。この整備で明るくなることに加えて、歩道部を少し削り、バスベイをつくりバスの乗降をスムーズにできるようにする予定です。新庁舎の完成に向けて、今ある信号を駅側に移設して、車歩分離型の信号にして、横断歩道部分を駅側にも設置して、歩道橋を渡らないでも横断出来易いようにしていきます。もうしばらくお待ちください。

また、市川学園幼稚園前の道路も、京成線の踏切に近い辺りは大雨の際によく水がでます。昨年排水ポンプの入替と水を集水しやすくする工事を終えました。これにより、排水能力は1分間9㎡から、12㎡になり、およそ1.3倍になりました。このように、地域の課題は少しずつですが、改善に向けて動いています。

市川市長選挙が再選挙になりました。

11月26日に執行された、市川市長選挙は、有効投票数の25%を得た候補がいなかったために再選挙をすることになりました。日程は、異議申し出がでているので、現在の所は未定です。前市長の任期が12月24日で終わったので、その後の市政運営は、市長の職務代理者として、佐藤尚美副市長が行っています。なお、12月議会で、承認されたもう1名の笠原智副市長も職務を行っています。

ご意見・ご要望等お気軽にどうぞ！



市川市議会議員

稲葉健二の 一言メッセージ

No.52

平成30年1月10日発行
稲葉健二事務所
272-0021
市川市八幡2-2-10
TEL 047-333-1783
FAX 047-334-1990
URL www.inaba-kenji.jp
MAIL kenjiinaba@aol.com

地域の安全のために

八幡小学校の前の通りは、大変交通量も多く安全対策が求められています。その通りにある踏切は、菅野5号踏切といわれ、今までに、安全対策として、約70cm拡幅していただき、菅野よりに歩道部分が拡がり歩きやすくなりました。しかし、朝晩の時間帯は勿論ですが、歩行者、自転車、車などの量は多く、加えて、ルールやマナーの悪い方も多く、危険な状態であることは間違いありません。八幡小学校のPTAの方たちが朝の安全指導なども続けていますが、通学する子どもたちを守ることで一杯と聞いています。今まで何回も議会で質問し、市の職員の方たちと対策を考えたり、安全対策のモデルテストをやってきましたが、根本的な改善は見られませんでした。京成線の連続立体化も一時は検討されましたが、現在は調査研究は行われていません。現実的に進めるには、費用も課題も多く非常に難しいと思います。そのような中、このたび地元の地権者の方の協力が得られ、この菅野5号踏切が大きく拡幅されることになりました。踏切を挟んで北と南の一部を、市川市が購入し整備をします。地元のために、地域の安全のために協力いただいた地権者の方に心から御礼申し上げますと共にこれからも、より安全にこの通りがなるように、活動が続けて行きたいと思えます。

10年以上の月日はかかりましたが、踏切が2.2mくらい拡がり地域の安全対策が一步前に進んだことを、スタートに、ルールやマナーの改善も含めた対策を進めるように頑張ります。子ども達や高齢者の方たちを守る社会をつくっていくことに、皆さんの協力をお願い致します。



稲葉健二会派代表質問 平成29年9月議会の質問要旨です。インターネット中継もどうぞ。

市議会中継をPCやスマホでも見ることができます。<https://www.youtube.com/watch?v=9ZWXQXkhO3c&list=PLJbQtwTsBjBcpcp5iPagFpJrUDHHG3Oqb&index=9>

○子育て支援について

(1) 認可外保育園への支援施策について

- ア. 保護者の負担軽減に向けた補助金のあり方について
- イ. 園のスキルアップを支援する基本的な考えについて
- ウ. 本市独自の支援施策の必要性について

(2) 放課後保育クラブについて

- ア. 待機児童の解消に向けた基本的な考え方について
- イ. 支援員不足解消に向けた支援について
- ウ. 今後の方向性について



待機児童の受け皿の一つとして重要な役目を担っている認可外保育園について質問をしました。以前に市川市独自の補助金をつくっていただきましたが、認可保育園に比べると、園にも保護者にも支援が足りません。同じ市川市の子どもであっても入園先で受けられる内容に違いがあることは不公平です。ただし、認可外保育園によって運営状況もばらつきがあるので、認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書の交付を受けている施設(お日様マーク)などには、市独自の支援を検討して欲しいと質問しました。また、保育士給与加算なども、認可保育園と同様にできるように要望させていただきました。

放課後保育クラブは、就労支援の施策の中で重要なものです。子どもたちを放課後安心して預けられる環境をつくる必要があります。現在一部の放課後保育クラブで待機が発生しています。一部改善されましたが、今後入学してくる子どもたちも安心して受け入れができるように質問しました。学校に余裕教室が少ない場合や、支援員不足などで開室が難しい場合もあります。今後運営している市川市社会福祉協議会などしっかりと連携して、市としての支援も含め検討して頂けるそうです。

○自転車駐輪対策について

(1) 現状について

(2) 駐輪場管理事業の民営化に向けた考え方について



市内の駐輪場が、昨年度有料化をし、市の駐輪対策事業は大きな分岐点にきていると思っています。有料化後の現状について、特に市民の方たちの声はどのようなものか、賛否両論もあるが、この施策を今後どのように進めていくのか。また、報道でも出ているように、駐輪場の運営収支の収入が経費を上回る状態であるので、今後駐輪の使用料金をどのように考えていくことになるのか。そして、この駐輪場有料化の際に、将来的に民営化も考えることを検討していく中、具体的どのように進めるものなのか、内容はどのようにしていくものなのか質問しました。

駐輪場の有料化後、特に問題は見られていないが、特定地域の駐輪場は不足していて、キャンセル待ちがでている。駐輪場の増設を考えているが、候補地が見つからない。民間の駐輪場も開設されているようだが、実質的に不足している。市の駐輪場管理を民営化に向けて検討を進めているが、駐輪場の業務は、放置自転車対策事業、保管場所管理業務委託、駐輪場管理と分かれています。この駐輪場管理の部分が自転車を置く方の受益者の負担(収入)と運営費(支出)が近づくように使用料の改定が行われた。今後民間活力の活用を目的として民営化を進めていきたいとのことでした。放置自転車対策の指導員、撤去した自転車を保管している業務は、市費でほとんど充当されています。(撤去された自転車の引取手数料は収入)

今後は、市費で行う必要があるものと、民間で行うものと棲み分けをして進めるべきであると思います。ただし、キャンセル待ちが出ている地域の駐輪場整備は早期に進めていくようお願いしました。

○2018年4月に幼稚園教育要領の改訂が予定されている。現状の幼児教育環境について本市の考えを問う

(1) 今回の改訂の基本的な考え方

(2) 幼小連携のあり方、推進に向けた方向性について。特に私立幼稚園との連携のあり方

(3) 私立幼稚園における預かり保育や子育て支援の推進にどのような取り組みが必要か

(4) 特別支援教育の指導をどのように進めるのか



改定では、大きく二つに分かれています。これからの社会で主体的に生きていくために必要な力を明確にする中で、「遊び」と「活動」を通した豊かな「学び」を支える幼児教育の充実と幼稚園と小学校の連携・接続の取組が進みつつある中でお互いの教育内容について理解し合うまでには至っていない現状を円滑に接続できるようにカリキュラムを編成していくとのことでした。市川市の公立幼稚園は、私立幼稚園の補完として進めていた施策であるため、園数は少なく、基本的には私立幼稚園との連携・接続を考えていくべきであると思います。私立幼稚園の預かり保育は、リフレッシュ型のタイプと就労支援型に分かれます。この中で就労支援型のタイプの充実が待機児童対策に有効とされています。待機児童の多い地域の私立幼稚園ではかなり利用があります。その運営に補助金等の応援をしていますが、現状に見合う調整も必要だと思っています。また、特別支援教育をどのように進めるのか、公立と私立がお互いにどのように協力・連携していくことを整理することが重要だと考えます。特別支援が必要な子どもたちに、オール市川で応援していくことが重要であり、組織の枠を超えてしっかり進めていくよう要望しています。

稲葉健二の9月
議会中継の
QRコードです。

